

# 川西市 DX推進アクションプラン

令和8年2月

ICT総合戦略会議

# 目的と位置づけ

- 本市ではこれまで、令和2年にコロナ禍を契機として『川西市ICT総合戦略』を策定し、デジタル技術を活用した市民サービスの向上と職員の働き方の改革を進めてきました。
- 令和7年には、行財政改革審議会の中にDX(デジタル・トランスフォーメーション)に関する事業再検証の部会を新たに設置し、令和7年12月にその中間答申を受けたところです。
- 本プランは、これまでの本市の取組みや、上記の答申を踏まえ、デジタルディバイド(情報格差)及び情報セキュリティに配慮し、“誰一人取り残されない”デジタル社会の実現に向けて、市として令和10年度までにどのように取り組むかを定めるものです。
- 『川西市ICT総合戦略』は、令和8年度の事業再検証の最終答申を踏まえ、改めて見直しを行います。

# 目標と主要なテーマ

- 本プランでは、戦略に掲げる目標の達成のため、次の4つを主要なテーマとして取組みます。

市民サービスの向上及び業務の効率化に向けたDXの推進	
行政手続きや市民相談の オンライン化による “行かない市役所”	窓口のスマート化による “書かない・待たない窓口”
多様な市民に寄り添い 誰もが安心して使える “人にやさしいデジタル化”	職員の業務効率を デジタル技術で向上させる “働き方のバージョンアップ”

# 具体的な取組み①

■…R10年度時点の達成指標

- 各テーマにおける具体的な取組みと目標は次のとおりです。

## 行かない市役所

■新たにオンライン化した市民向け手続き（新規） 150件  
■オンラインによる申請件数（R6年度:9.8万件） 12.7万件

- オンライン申請ツールを活用して手続きのオンライン化を促進
- 利用者が必要な手続きに簡単にアクセスできるようナビゲーションを整備

## 書かない・待たない窓口

■書かない窓口に対応した手続き数（新規） 100件  
■来庁者の平均的な手続き所要時間（取組前比較） 20%減

- 窓口改革の検討チームを立ち上げ、デジタル技術を活用したスマートな窓口を実現する
- 業務のBPRを通じて、窓口の状況に応じた個別ブースの設置や予約システムの導入など多様な選択肢を検討する

# 具体的な取組み②

■…R10年度時点の達成指標

- 各テーマにおける具体的な取組みと目標は次のとおりです。

## 人にやさしいデジタル化

■デジタル活用をフォローアップした市民の数 増加  
■職員の情報セキュリティ研修受講率 (R6年度:98%) 100%

- デジタル技術に不慣れな市民へのフォローアップ
- 市民が安心してデジタルツールを利用するための情報セキュリティの確保

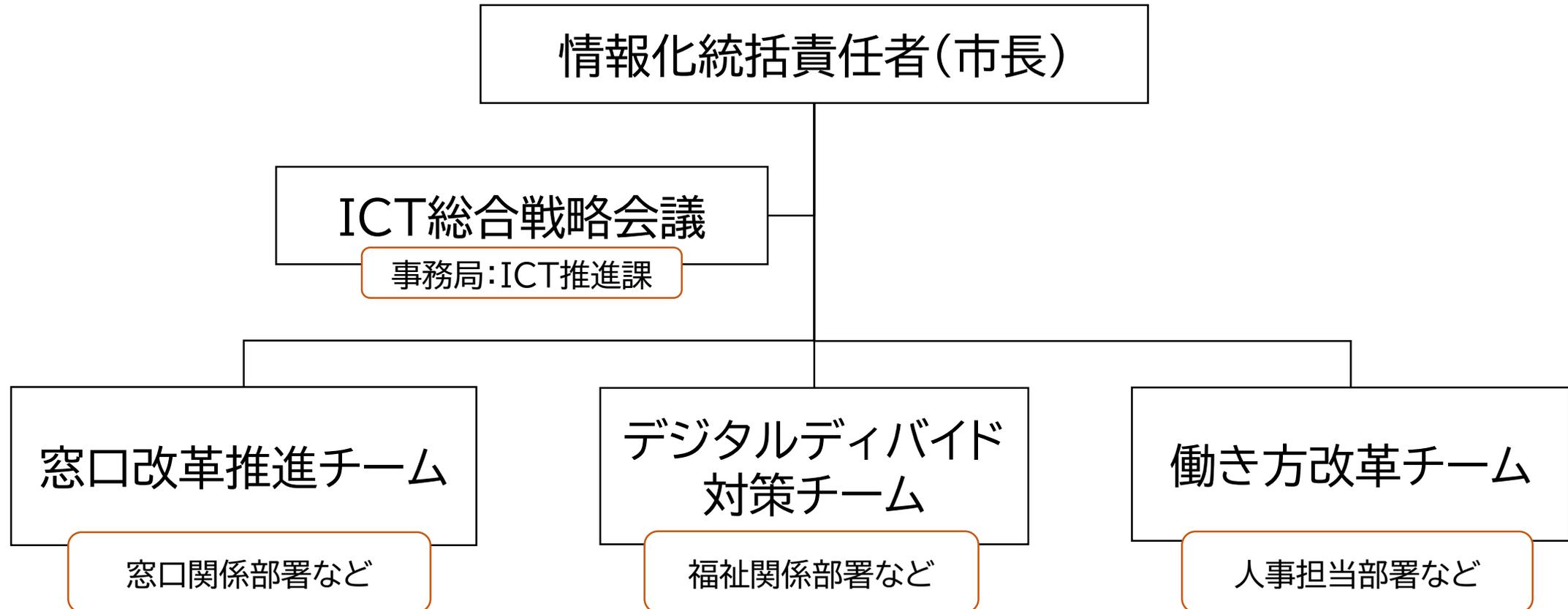
## 働き方のバージョンアップ

■業務に生成AIなどのDXツールを活用している職員の割合  
※月1回以上生成AIを利用する職員 (R7年12月:24%) 90%  
■DXツールの活用で削減された業務時間 (新規) 年6,000時間

- 生成AIや自動化技術など最新の技術を積極的に取り入れ業務効率を向上
- デジタル人材を育成し、推進の土壌となるDXマインドを持つ職員を増やす
- デジタルで効率化した結果生まれる余力を市民サービスの充実へ還元

# 推進に向けた庁内体制

- 組織横断的に取組みを進めるため、市長を統括責任者とした上でICT総合戦略会議にて全体を統括し、テーマごとに対策チームを設けます。



# 実行スケジュール

- 本プランの取組みは、以下のスケジュールにより実行します。ただし、取組みにより早期に実現可能なものは、順次前倒しを検討します。

